

モデル地区の概要（河川関連）

1 淀川の概要と諸元

- ・淀川は、滋賀県山間部に源を発する大小支川を日本最大の湖である琵琶湖に集め、大津市から河谷状となって南流し、桂川と木津川をあわせて大阪平野を西南に流れ、途中、神崎川と大川(旧淀川)を分派して大阪湾に注ぐ一級河川である。
- ・幹川流路延長: 75.1km、流域面積: 8,240km²
- ・流域は、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、三重県の2府4県にまたがる。

2 淀川の流況

- ・淀川上流の三流域は、琵琶湖流域が融雪期、桂川流域が梅雨期、木津川流域が台風期のそれぞれ異なる時期に流出量が多い結果、わが国でも流況の安定した河川の一つである。

	平水流量
上流部(瀬田川)	70~100m ³ /s
中流部(宇治川)	100~130m ³ /s
下流部(淀川)	130~210m ³ /s

注) 平水流量: 一年のうち、185日はこれを下らない流量

3 淀川の河川水質

- ・BOD(75%値): 近年は、淀川(伝法大橋)、木津川(御幸橋)を除いて環境基準を満足している。また、最近10ヶ年の推移は概ね横這いまたは減少傾向である。河川縦断的にみると、下流の伝法大橋を除き概ね2.0mg/L前後であるが、伝法大橋のみBODがやや高い値となっている。
- ・大腸菌群数 : 全ての地点で環境基準を超過している。

淀川の流況(平水流量、低水流量)

※平成4年度～平成14年度の平水流量、低水流量の状況を整理

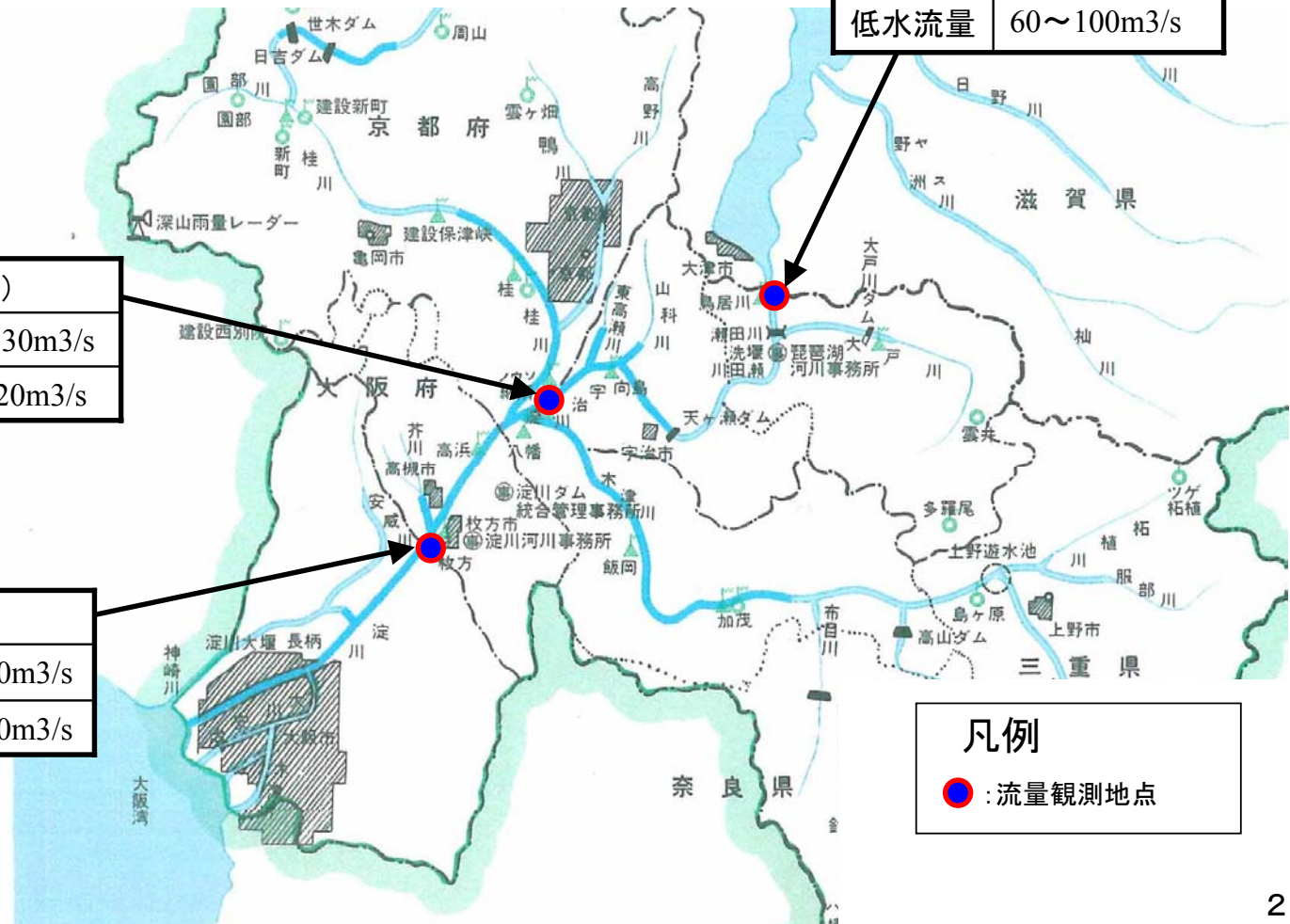
平水流量: 1年のうち、185日はこれを下回らない流量

低水流量: 1年のうち、275日はこれを下回らない流量

上流域: 瀬田川(鳥居川)	
平水流量	70~100m ³ /s
低水流量	60~100m ³ /s

中流域: 宇治川(淀)	
平水流量	100~130m ³ /s
低水流量	90~120m ³ /s

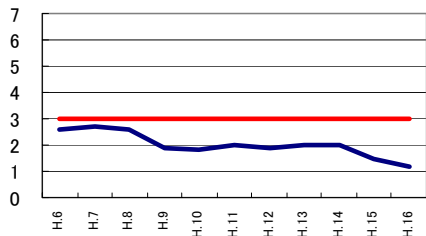
下流域: 淀川(枚方)	
平水流量	130~210m ³ /s
低水流量	110~170m ³ /s



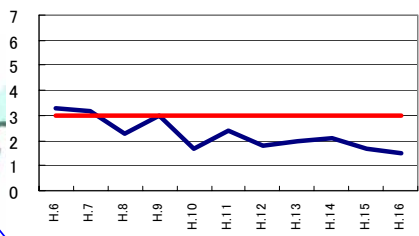
凡例
: 流量観測地点

淀川の河川水質の推移－BOD(75%値)－

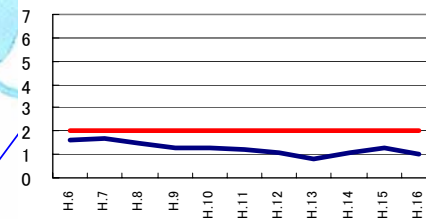
淀川(枚方大橋)B



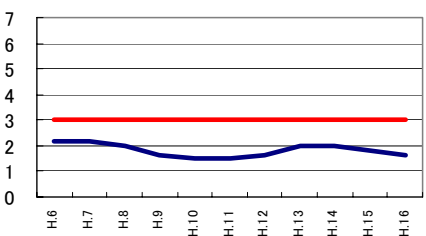
桂川(宮前橋)B



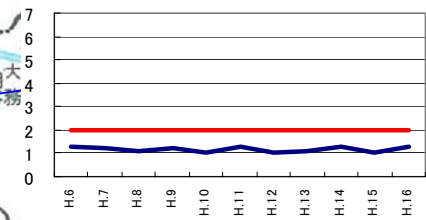
瀬田川(唐橋流心)A



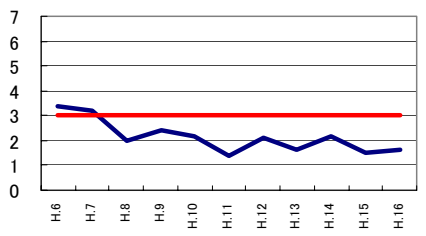
淀川(鳥飼大橋)B



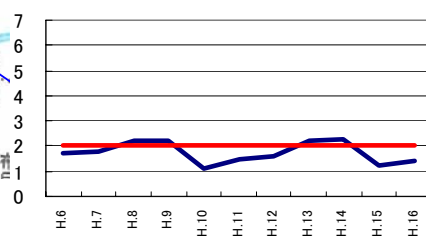
宇治川(隠元橋)A



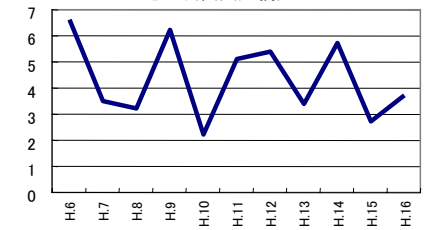
淀川(柴島)B



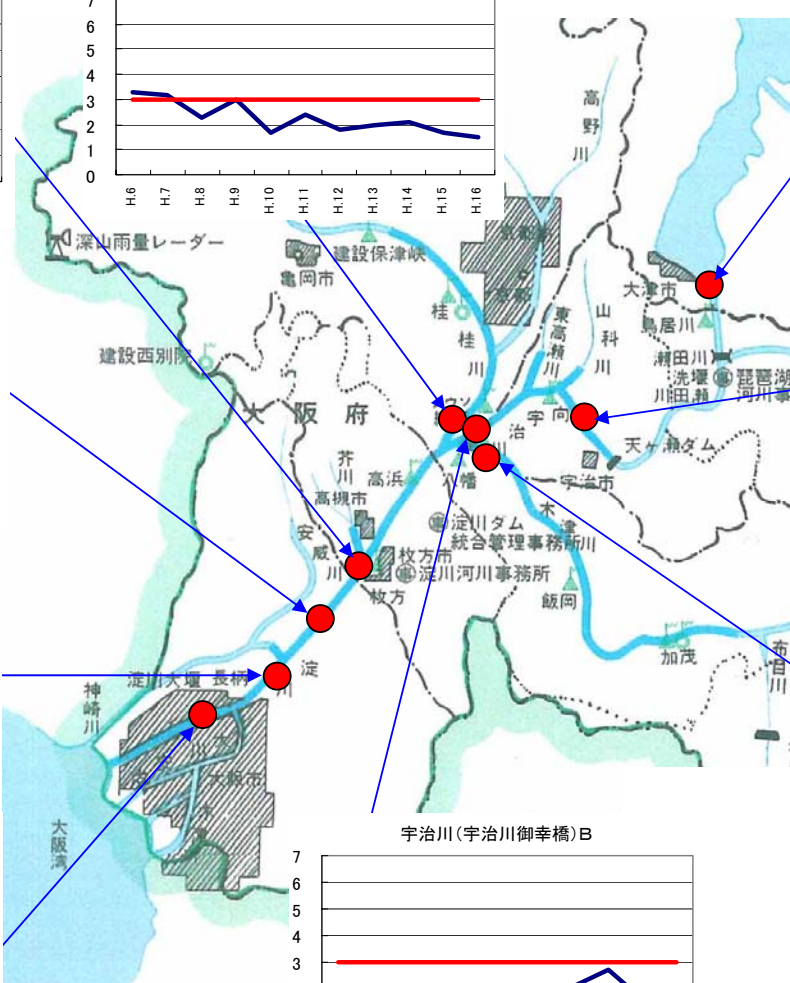
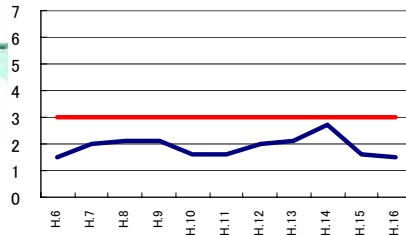
木津川(御幸橋)A



淀川(伝法大橋)D



宇治川(宇治川御幸橋)B



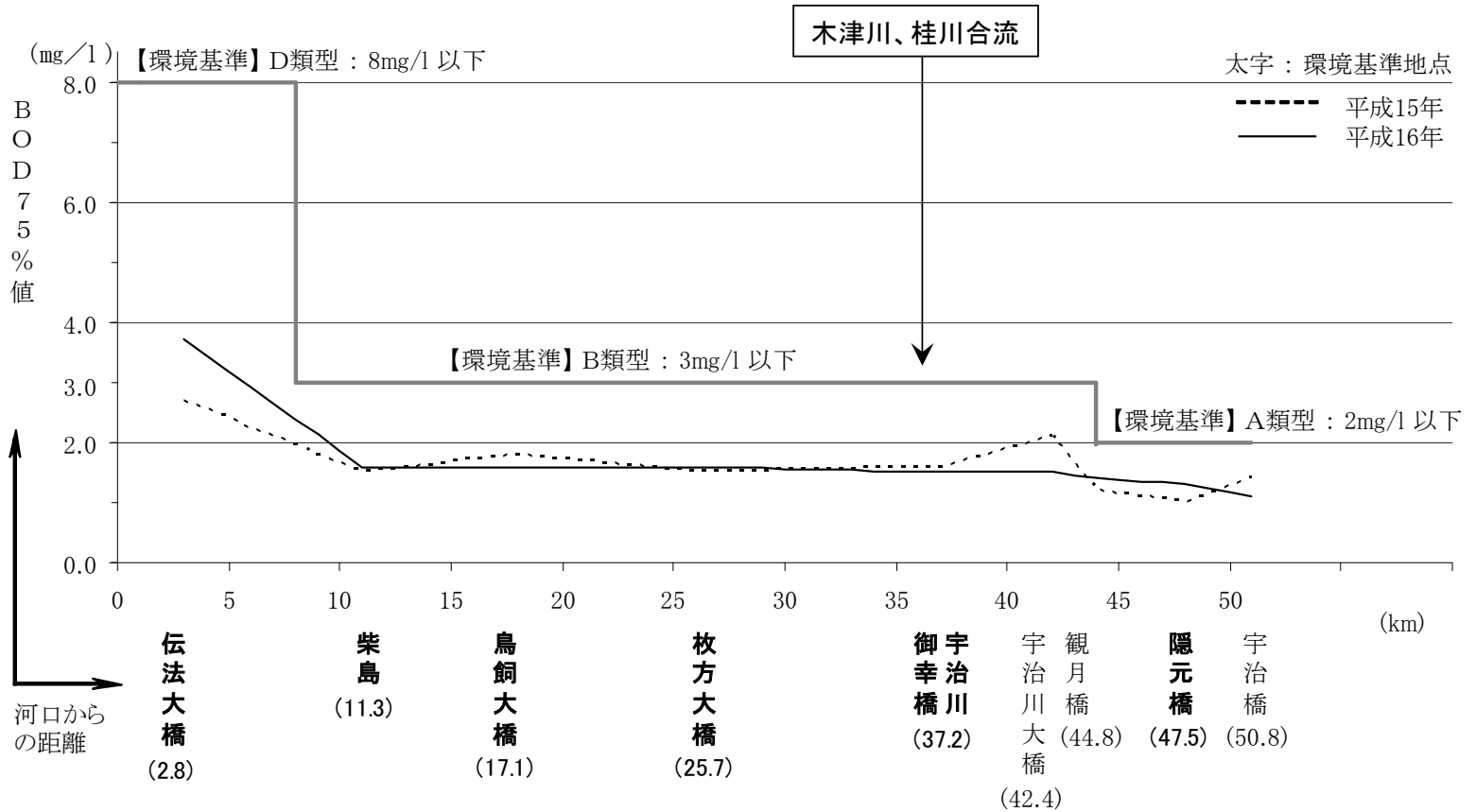
凡例

- : 環境基準点
- : 環境基準
- : BOD(75%値)

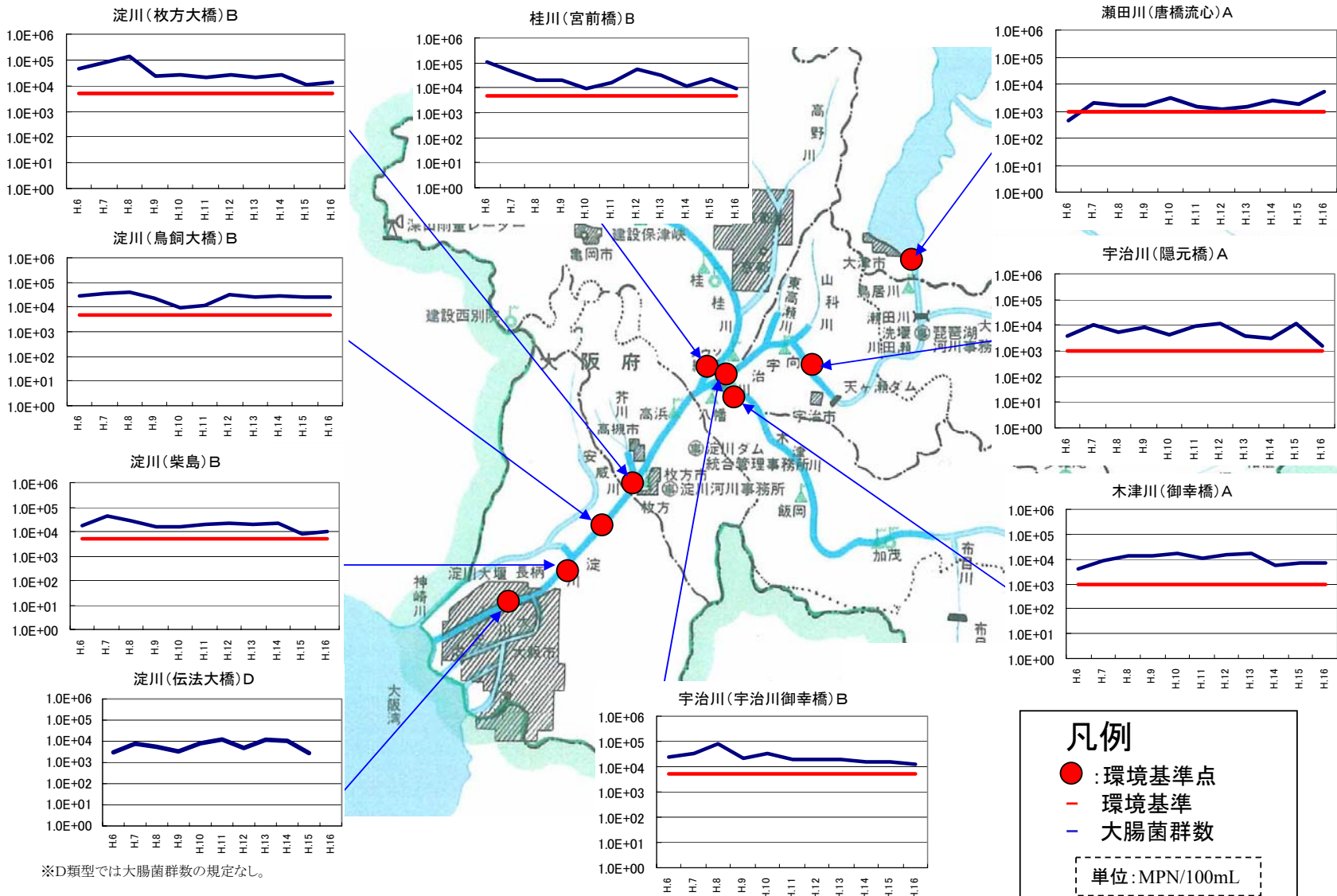
単位: mg/L

※D類型環境基準: 8mg/L

河川水質縦断図－BOD(75%値)－



淀川の河川水質の推移－大腸菌群数－



※D類型では大腸菌群数の規定なし。